

2015
Vol.22

THE BSSC JOURNAL

通巻22号 2015年3月19日発行



びわこ成蹊スポーツ大学新聞 Biwako Seikei Sport College

THE BSSC JOURNAL

びわこ成蹊スポーツ大学の「今」を伝える

©びわこ成蹊スポーツ大学新聞編集部 〒520-0503 大津市北比良1204番地 <http://bsscj.jp/>

希望を胸に!



2014年度のびわこ成蹊スポーツ大学
学位記授与式は3月19日、
大津市の琵琶湖ホテルで行われ、
283人の卒業生と10人の修了生が
希望を胸にそれぞれの道へ羽ばたいた。

羽
ばたけ!
それぞれの
道へ



開学から12年となった9
期生の授与式は、嘉田由紀
子学長から生涯スポーツ学
科135人、競技スポーツ
学科148人に4年間の学
びの証となる学位記が授与
された。また修了生となっ
たスポーツ学研究所の2期
生10人にスポーツ学(修士)
の学位記が授与された。
嘉田学長の式辞、来賓祝
辞の後、学業やスポーツ功
績、卒業論文優秀者らが学
長表彰された。

大学に入學した当時の
皆さんご自身を振り返っ
てみてください。そして
今の自分と比較してみ
てください。大きく成長し
たと思うところはありま
すか?それともあんまり
変わっていないと思いま
すか?自分の判断だけで
なく、お友達とも話して
みたらどうでしょうか?
ご家族からの意見も聞い
て下さい。

私は本学の学長に就任
してまだ半年も経ってい
ませんが、皆さんの先輩
が就職している学校や行
業、卒業生の皆さんへ

学長
メッセージ
「卒業生の皆さんへ」

政機関、民間会社などを
訪問して先輩の評判を聞
き回っています。「びわ
スポ大」の卒業生は「機
転がきく」「体力・気力・胆
力がある」「組織内での動
き方を知っている」など
前向きな評価をたくさん
聞きます。うれしいこと
です。

これらの評価は、過去
12年にわたり本学の教員、
先輩が積み上げてきた全
員必修の「野外スポーツ
三大実習」や、さまざま
な現場体験を含む「イン
ターンシップ実習」、課題
発見から方法選択、調査
データ取得と分析、そし
てプレゼンテーションま
で、2年近くをかけてや
り続ける卒業研究など、
きめ細やかな学びの力
キュラムのおかげではな
いでしょうか?それに加
えて8割以上の学生が熱
心に参加しているクラブ
活動。競技種目としての
地位をあげることに加え
て、スポーツの本質的な
楽しさや面白さ、そして
人生や社会における意味
も学べたのではないでし
ょうか。

嘉田 由紀子

第63回 全日本大学サッカー選手権大会



インカレ
3位
入賞

6年ぶり2回目の出場となった
インカレで、関西学生リーグ2位
の実力を発揮し、快進撃を続けた。
初戦の2回戦で昨年準優勝の国士
館大を1-0で倒してインカレ初
勝利を挙げると、準々決勝では15
年連続出場の大連、福岡大を延
長の末の1-1からPK戦で破っ
た。両チームの9人目までが蹴っ
たPK戦を6-5で制した。準決
勝で、優勝した流通経済大に0-
4で屈したが、全国に「びわこ成
蹊スポーツ大あり」を強くアピ
ルした。報告会では「勝っていく
には賢さが必要。3位という結果
に満足せず、進化していく」と望
月監督。サッカー部の向上心がそ
の言葉から伝わってくるようだ。

関西学生リーグでは、14勝3敗
5分けの勝ち点47で阪南大に続く
2位。リーグ優秀選手賞にMF加
藤大樹(4年)、FW久保賢悟(3
年)が選ばれ、新人賞にはDF宮
大樹(1年)が選出された。
今年も本学のサッカー部から目
が離せない!



第63回全日本大学サッカー選手権大会(インカレ)は12月に
東京で行われ、本学サッカー部が3位の好成績を収めた。

・卒業生・ひと言・



■生涯スポーツ学科

野外スポーツコース

◎清水 史郎ゼミ

とても充実した4年間でした。ありがとうございました。
西田裕季子
最高の仲間に出会えました。4年間ありがとうございました。
藤嶋 尚生
本当に感謝でいっぱい4年間でした。
高木なつき
4年間で出会えたすべての人に感謝。両親にたっぷり恩返しスタート
土屋 幸大

身長は大きくなりませんでした。心は大きくなりました。
前原健志郎

ピタカゲな私でしたが、無事に卒業できることに感謝しています。
高崎 悠世

◎中野 友博ゼミ

4年間でたくさんの経験ができました。みんなありがとう！
佐竹 祐佳
びわ湖に来て多くの人と出会い、充実した4年間を過ごしました！
垂水 健悟

4年間ありがとうございました。支えてくれた全ての人に感謝！
有井 勇人

つらいこと、楽しいこと、一緒に経験してくれたみんなに感謝。
登山つぐみ
充実した大学生活でした！ありがとう！
佐川 雅也

大学生生活楽しんで！
山本 将太

4年間、最高の大学生活やった！みんなありがとう！
峯田 光

◎黒澤 毅ゼミ

多くの刺激や学びを与えてくれた壮大な琵琶湖・比良山に感謝。
里見龍之介
4年間ありがとうございました！親、友だち、先生方に感謝！
井藤 伸平
野外に出会い、野外で成長できた大学生活にありがとう！
杉浦 可奈
ありがとう！びわこの大自然に感謝と愛を。
中村 友亮

出会いに感謝。大学で出会った全てが宝物。みんなありがとう。
寶関 千裕
つらい事ばかりだった、4年間の大学生活。だがそれがいい。
黒田 大智



楽しかったことや辛い事を経験出来て充実した大学生活でした。
大西 美穂

◎林 綾子ゼミ

4年間ありがとうございました。野外スポーツコースのおかげです！
白倉 久嗣
4年間たーのしかった☆びわこありがとう、野外ありがとう！
北川 志帆

両親、同期生、先生方に支えてもらったことに感謝します！
福見 拓馬

みんなに出会えたびわこに感謝。4年間で最高の宝物が出来ました。
吉村 浩菜
4年間みんなに感謝です。両親に恩返しをし立派な大人になります
吉田健太郎

4年間楽しかったです。お世話になりました。グッバイ！
堀 大輔
野外、野外、野外。ありがとう。野外スポーツコース。
三橋 拓也

地域スポーツコース

◎新井 博ゼミ

この大学で、このゼミでたくさんのお話を学ぶことができました。
青木 良樹
4年間様々な事を経験しました。良くも悪くも人生自分次第！
野村 和貴
4年間とても楽しかったです。お世話になりました。
小田川真也

多くの挑戦や経験ができ、とても充実した大学生活でした。
下川 佳希
色々な経験を生かして、これから社会で頑張ります。
井口 亮

大学生活で学んだことは、一生の宝になると思います。
大久保拓馬



4年間お世話になりました。卒業できてよかったです。
堀田 晃平
4年間色々なことがあったけど、卒業できてよかった。
島田 成樹

◎金森 雅夫ゼミ

4年間支えてくださった全ての人たちに感謝。夢叶えます！
出口 瞳
充実した大学生活を送ることができ、お世話になった方々に感謝！
谷澤 結衣
たくさんの方々の困難を乗り越えたからこそ充実した大学生活！ありがとう！
田中 愛

4年間お世話になりました。この大学に来てよかったです。
佐野 雄紀
色々な人と出会い、成長することができました。
鈴木 崇直

4年間に詰まったたくさんの思い出は一生の宝物！親に感謝！
北川 一輝

感謝、感激！！4年間、本当にありがとうございました。
武村 智之
金森先生、本当にありがとうございました。必ず恩返しします。
栗林 壮磨

大学で学んだことを生かし、社会人では今以上に頑張ります。
大野太貴三

◎新宅 幸憲ゼミ

毎日、パーティーのようなゼミ活動楽しかったわ。
二河 剛史
充実した大学生活を送らせてもらったのは、両親のおかげ。
渡邊 圭介
教員、そして両親に感謝し、恩返ししたいです。
富田 真也
4年間、遠い大学へ通わせてくれてありがとうございました。おやじ、おかん。
藤井 研次
多くの出会いに感謝！仲間感謝！両親に感謝！
川口 拓真

4年間で成長できる場所でした。
安田 隼

この4年間沢山の出会いがありました。出会いをこれからも大切に。平尾美利香



・ 卒業生 ・ ひ と 言 ・



たくさんの仲間に出会い、自分なりに成長できました。両親に感謝！

景山 千里

4年間は、長いようで短かった。おもしろい仲間の出会いに感謝感激！！

道場 達朗

良い事ばかりでは無いさ、でも次の扉をノックしよう。終わりのなき旅

浅野 雄平

残念ながら、大学での4年間は楽しかった！これからも勇往邁進！

辰己祐希仁

◎菅井 京子ゼミ

辛いこともあったけど、楽しいことのほうがたくさんあった。

山本 裕和

4年間お世話になりました。仲間、先生に感謝。

上村 悠

切実に女の子の数を増やして欲しいと思った4年間でした。

大森宗一郎

辛かった4年間。試合終了ーピピー

日下 遼祐

4年間お世話になりました。僕の人生はこれからの頑張りです。竹本 凌

4年間とても楽しかったです。いろいろとありがとございました。下村 崇太

楽しかったこと頑張ったこと辛かったことを乗り越えた4年間。松本 瑞生

◎佐藤 馨ゼミ

4年間、良い思い出になりました。恩返ししていきます。

伊與 貴教

辛いこともたくさんあったけど楽しい4年間でした。

西村 美香

将来について考える、きっかけになった4年間でした。

白井 克成

何をしても楽しい4年間でした。ありがとございました。

西本 優也

胸張って卒業しますーびわこ成蹊スポーツ大学を！！

浅田 拓哉

楽しい仲間に出会えて刺激のある毎日を通しました。ありがと。宮原 伶央

この4年間で明確な目標ができました。先生、仲間へ感謝。

濱田 英莉

周りの人達に感謝します。玉田 雄大

◎河西 正博ゼミ

大変だった4年間。楽しかった4年間。びわスポ行って良かった。山下 将宗

4年間ありがとございました。新たな道で頑張ります。

牧野あやめ

自分の夢に突っ走る事ができた4年間だった！本当に両親に感謝！！

佐藤 政紀

たくさんの経験が出来た4年間でした。この経験を元に頑張ります。石原 耀

陸上つきの学生生活でしたが、最高の4年間だった。仲間へ感謝！！

鹿島 大路

学 校スポーツコース

◎柴田 俊和ゼミ

大学で出会えたみんなに感謝！その気持ちを一生忘れずに…。

児玉健二朗

これからはお世話になった方々に、少しずつ恩返ししていきます！

西住 裕高

この4年間で出会った全ての人に感謝！楽しい大学生活でした。

加茂 亮祐

4年間楽しかったーいい仲間に出会えた大学生活でした。

酒井 大樹



自分の夢への結果を求めるなら、何かをなさねばならない。

片木 新吾

香川県も好きやけど、滋賀県の街、人、自然も好きになったけん。

岡本 幸記

めっちゃ楽しい4年間でした！いつも笑顔の先生になったる！

宮田 将宜

目を閉じて 思い返せば 遊び人

山田 俊一

ディスクを追いつけ早4年。まだまだ追いかけて続けます。

塩山 友貴

楽しい時間をありがと♡びわこに来てほんまに良かった！

伊藤 岬

来年から講師としてがんばります。

永淵 諒香

挫折は過程。最後に成功すれば挫折は過程に変わる。

草壁 克秋

自分を成長させてくれた全ての出会いに感謝！

石野 航

強く、逞しく生きるこ。生涯現役！それがこれからの私の使命！

金丸 真人

◎中蘭 伸二ゼミ

みんなありがと。感謝の心を大切に。みんなとの出会いに感謝！

辻本龍太郎

みんなに幸あれ。

山鳥 真也

4年間最高でした！サッカー部、中蘭先生万歳！

青山 喜典

いろんなことがあった4年間。たくさんの人に感謝です！

井上 知香

素晴らしい出会いに感謝！これからも繋がります！

田邊 政典

素晴らしい自然の中での充実した4年間でした。

西尾 優希

中蘭先生、大変お世話になりました。

石橋 知裕

この4年間で学んだこと、経験したことを大切にします。

堀内 宏介

頑張れたのは、苦楽を共にした仲間巡りに合えたから。

佐武 靖夫

4年間ありがとございました。これからも頑張ろう！

森安 祐介

4年間楽しかった！みんなありがと！

植田 昂斗

びわスポに感謝！そこで出会えた皆さんの仲間へ感謝！

杉方 健介

素晴らしい4年間でした。仲間へ感謝！

廣橋 学

◎谷川 尚己ゼミ

両親と仲間へ感謝！これからも私らしくマイペースに。必笑！

堀 奈々子

この大学でみんなと出会えて良かった。ありがと！

澤野 友輔

「一生もの」の技術があれば越えられない壁はない。大切なのは銭。

田中 省伍

「志合えば胡越も昆弟たり」

馬場 彪伍

あつという間の4年間。文句言いつつ、楽しい大学生活でした。

國本 燎

楽しい4年間でした。数少ない友達に感謝！

西岡 亮太

カタタニア 俺が滋賀県 代表さーアッーイ！

井上 悠

一歩踏み出すことで世界が広がりました。たくさんの出会いに感謝！

上島 千明

あつちゅうまの4年間。なんだかんだ楽しかったかも。

岩瀬 弘一



大好きな仲間へ感謝♥ ZONBARO rainbow♥

巽 飛香里

山あり谷ありの4年間、共に歩んだ仲間へ感謝。

釣本 益子

4年間お世話になりました。大学で学んだ事を活かしていきます。

池田 真基

関わってくれた全ての人に感謝！ありがと！

竹田 宗樹

◎森川 みえこゼミ

出会いは「必然」。みんなの思い出は一生モノ。本当にありがと！！

柴田 瞳

出会えた仲間と支えてくれた両親に感謝です。ありがと！

綿野 良洋

自ら学ぶことの、重要性に気づけた。常にチャレンジ！

生本 伸行

なんやかんや充実した大学生活。楽しかったよ！

三野 涼

4年間、何事も続けることの大切さを身にしみて感じた。

園田 良

出会いに感謝。両親へ感謝。人は考える輩、学び続ける教員になる！

渥美 友那

「夢」が「仲間」が「家族」が前へと進めさせてくれました。

米田 隆行

◎仲宗根 森敦ゼミ

正直、あと3年通いたい。上村 詢也

おれはおれらしく！

絹傘 新

野球漬けの4年間は私の財産です。恩返し出来るように頑張ります。

大原 瑞輝

たくさんの事を経験した4年間でした。本当に楽しかった！

池本 隆太

4年間勉強の日々でした。これからも精進していきます。

江口 和希

たくさんの経験から成長できた4年間でした。みんなに感謝！

寺迫 昌大

笑顔笑顔の4年間。支えてくださった全ての方に感謝。

木下 一輝

びわスポでできた仲間、経験を生かし、いざ社会へ飛び立とう！

津坂 雄哉

心友に感謝！！両親に感謝！！びわスポありがと！！

岩松 恭平

SHINYAYOKOYAMA、新曲出しました！よろしく！

横山 真弥

みんなのおかげで楽しい学生生活でした。ありがと！

小谷 駿介



・ 卒 業 生 ・ ひ と 言 ・



■競技スポーツ学科

トレーニング・健康コース

😊高橋 正行ゼミ

学生生活全てが、貴重な経験でした。ありがとございました。 中谷 達彦

今まで自由にやらせてくれた親に感謝！一期一会を大切に！ 小林 隼人

4年間大変お世話になりました。これらががんばっていきます。 池田 敏紀

4年間ありがとー！！みんなに感謝しています！！ 十川 卓也

4年間沢山の人に助けてもらったたりお世話になりました。感謝です。折戸 亮介

😊若吉 浩二ゼミ

若吉ゼミの皆に出会えて最高でした！ありがとー！ 上 翔也

たくさん経験と思い出を胸に、これからも頑張っていけます。 竹中 拓人

いい思い出がいっぱいできた最高の4年間でした。仲間感謝！ 本郷 あり

辛いことも楽しいこともあった4年間、しっかりと成長を感じます。 草名 亮太

水泳を続けさせてくれた親、そして仲間、白木先生に感謝してます。 小川 将史

この大学の水泳部で競技生活を送れたことを誇りに思います。 田中 智大

思いっきりスポーツに打ち込めた、充実した4年間でした。 木田 陽之

😊小松 猛ゼミ

何事も経験。 春名ひかる

大学生活で学んだことを活かして新生活を乗り越えていきたいです。 西本 悠太

新しい経験ばかりだった4年間、家族、友人、周りの人に感謝です。 宇野 翔

テニス部のみんなに感謝！充実した大学生活でした。 増田 幸平

4年間楽しかった！！ たくさんのお会いに感謝。ありがとー！！ 福原 弦

4年間でのたくさんのお会いに感謝します。ありがとー。 岡本 育代

大学生活山あり谷あり。良い4年間でした。両親に感謝！！ 大藪 はな

😊佃 文子ゼミ

4年間多くの人に支えられ感謝の気持ちでいっぱいです。 大野 将史

たくさんのお会い、仲間に恵まれた4年間でした。お元気で。 結城 郁也

大学生活で、できた繋がりの輪は一生モノ！出会いに感謝！ 大石 佳史

泣いて笑って友達と楽しく過ごせた4年間でした！ 廣瀬 未沙

関わってくれた全ての人に感謝です。楽しい4年間でした！ 永福 瞳

沢山のお会い、刺激を受け、充実した大学生活でした。皆に感謝 西岡 葵



僕に関わってくれた人みんなに感謝です。でっかい人間になります。 吉田 一也

😊藤松 典子ゼミ

面白いことたくさんありました。滋賀来てよかったです。 千本 龍翔

4年間人として成長できたと思ってます。また会いましょう！ 佐々木梨菜

BSSCに入れてソフトボール部に入れて本当に良かった。 西澤小百合

先生、友達、出会った人たち、4年間ありがとーございました。 武岡さつき

4年間お世話になりました。最高の仲間感謝してます。 相良 将史

たくさん経験ができた大学生活でした。体操競技部万歳！ 奥田 湧平

ここでの4年間を乗り越えることができた自分に自分だけは拍手。 古永 大智

4年間、関わってくれた人ありがとー！！1人暮らし頑張った！笑(笑) 山田 桃子

😊武田 哲子ゼミ

辛いこともあったけどびわこの仲間と自然が包んでくれました。 田中美優夏

仕事したくねー。けど、陸上よりかは楽しいよー！びわスポありがと。 扇本 春平

スポ大に入って人として成長できました。ありがとーございました。 井澤 謙吾

4年間部活を続けることが出来た本当に良かった。ありがとー！！ 木村 斗子

とても楽しい4年間でした。ありがとー！！幸せになりたいな！ 中谷 美久

多くの友達ができ、充実した4年間をありがとー。 榎木 拓己

😊鳥羽 賢二ゼミ

様々なことを経験でき、貴重な4年間でした。 中元 健翔

周りに恵まれ楽しい4年間でした。徒歩5分最高。 市川 美香

毎日がとても充実していました。ありがとー！！ 田上 かん菜

4年間ありがとーございました。全力で恩返しします。 栗栖 歩佳



😊渋谷 俊浩ゼミ

無名校で結果残す、を目標に入学したものの…人生うまくいかん。 石田 研摩

あいさつ、笑顔、感謝！ありがとーございました。 谷本咲輝子

ほんまに色々あった。辛いことばっかりだった。でも楽しかった！ 国本 寛牙

この4年間で学んだことは、笑顔です。 田中 拓心

4年間、様々な経験をさせていたいただきありがとーございました。 坂口 敏樹

😊村田 正夫ゼミ

大切なのは、気持ちやる！！ 向井 邦宏

生きてるだけで大冒険。 木村 周平

仲間に感謝！！ 竹村 大輔

みなさんこんにちわ、やっつです。 中路 由樹

4年間、良い仲間に出会えて幸せでした。お世話になりました。 長澤 亮

4年間で学んだことを社会に出て役に立てていきます。 辻本 匡利

😊北村 哲ゼミ

先生、友達、さまざまなお会いに感謝します。ありがとー！！ 葛上 晃平

哲さんに出会えて良かった。中村 謙吾

友達に支えられた4年間、とても楽しく過ごせました。ありがとー。 高橋 道岳



ここで学んだこと、無駄にはしません。 笹原 宙

いろんな経験ができ充実した4年間でした。 山下 幹矢

4年間色々ありましたが、楽しい4年間だった気がします！ 阪口 優介

部活も勉強も充実していて、最高の4年間でした。 山元 俊英

様々な人と出会って、成長した4年間。これからも元気で。 市場 雅之

😊白木 孝尚ゼミ

19年間続けてきた水泳人生に悔いはなし。 河野 脩貴

色々な経験のできた4年間でした！！ありがとーございました！ 三木 綾乃

この4年間、刺激や経験があり、成長することができました。 池亀 規介

😊山田 庸ゼミ

ありがとー。 藤本 昂洋

4年間ありがとーございました。これからも頑張ります。 峯崎 聖久

お世話になりました。ありがとーございました。 山田 裕貴



・ 卒業生 ・ ひ と 言 ・



仲間を支えられた4年間でした。感謝です。
小川 純平
両親に感謝、仲間に感謝。 井上 陸
最高の仲間に出会えました。 前田 大貴
色んなしがらみから抜け出せました。
永禮 大裕
ありがとうございました。 竹内 洸
楽しかったです。ありがとうございました。 三輪 優平
ありがとうございます。 坂本 達貴
様々な方にお世話になりました。夢に向け今後も頑張ります！ 土井 悠介
辛い事、苦しい事、一杯あった。でもみんながいたから乗り越えた。 中村 宏輝
この4年間で最高の仲間ができた。
加藤 大樹

スポーツビジネスコース

一生の友達に出会えた!!お父さん、お母さん4年間ありがとうございました!! 木下 美里
4年間を通していろいろな経験ができ、充実した学生生活でした。 山下 湧士
ここに来て、出会えた仲間に感謝と共に両親に感謝。ありがとうございました!! 山本 大貴

◎吉田 政幸ゼミ
無駄な努力はない。これからも前を向いて、一歩ずつ、一歩ずつ。 白井 脩生

4年間、お世話になりました。充実した大学生活でした。 西森 麻衣
4年間お世話になりました。両親に恩返しするために頑張ります。 前川 逸
4年間たくさんの人にお世話になりました。恩返ししていきます。 吉永 政
4年間ありがとうございました。両親、仲間に感謝。 野条 大地
たくさんの仲間へ感謝。我が吉田ゼミは永遠に不滅です！ 久米 裕希
終わりは次へのスタート。自分の目標は必ず果たします。 早田 慎太郎
先生やスタッフの皆様に支えられ、学生もたくさんのパワーに感謝！ 岡村 敬子
家族に感謝。先生に感謝。仲間に感謝。4年間ありがとうございました。 前田 愛実
すべての出会い、出来事には、意味がある。終わりのなき成長。 守屋 優馬
仲間に恵まれ、支えてくれた人々への感謝の気持ちで一杯です。 田中 雅敏
新たに出会えた人との繋がりが一番の財産です。感謝。 福島 絵梨香
大好きな仲間がたくさんでできたことが財産です。出会いに感謝！ 木戸 翔太

◎片上 千恵ゼミ
びわこ成蹊スポーツ大学で過ごしたような4年間でした。 梶田 浩平
4年間本当にお世話になりました。支えてくれた人に感謝です。 宮城 公則
テニスもゼミも何もかも楽しすぎでした！周りの皆に感謝です。 増岡 れおな
色々な事を経験できた4年間でした。先生方、みんなありがとうございました。 福川 欣希
いろんなことがあり過ぎた4年間。出会いが成長させてくれた。感謝 澤田 幸紀
4年間ありがとうございました。卒業で終わリじゃない。またここからがスタート 青木 巧

◎吉倉 秀和ゼミ
卒業するのが寂しいと思える4年間を過ごせて幸せなつしー♡ 山本 真奈
今までかわつてくれたみんな、ありがとう♡ 祖父江里香



LIVE 沢山行けて良かった。W H I T E J A M 大好きなつしー♡ 谷口 健吾
びわスポで過ごした4年間。たくさんの出会いに感謝なつしー♡ 宮川 朋子
両親と出会えた仲間に感謝します。吉倉ゼミ、ありがとうございました。 前野 沙織
この大学選んでよかった。支えてくれた仲間ありがとうございました。 佐保 一輝
いっぱい泣いていっぱい笑った4年間！みんなありがとうございました。 永田 帆乃香
頑張ることを覚えました。 山下 耀大
多くの仲間に出会えて感謝！4年間ありがとうございました。 磯江 日向
刺激いっぱい4年間で楽しいことだらけだったなつしー♡ 平野 友紀

スポーツ情報戦略コース

◎豊田 則成ゼミ
山あり谷ありの学生生活。楽しかったから結果オーライ！ 古川 真希
友達の大切さを学んだ4年間。とても充実してました。ありがとうございました。 西山 太亮
テニス漬けの4年間、幸せでした。みんなありがとうございました。 貝崎 杏子
バレー楽しかったです。みんな、ありがとうございました。 竹上 範子

多くの人に支えてもらった4年間でした。ありがとうございました。 田之畑 美咲
溢れんばかりの想い出が詰まった4年間。ありがとうございました。 森村 仁美
1人の教員によって私は卒論まで送りつくことができた。 木村 拳士
家から学校まで往復4時間、毎日が滋賀県への旅行でした。 宮本 駿
楽しい大学生活でした！全てに感謝！ 安部 優作
ここまで来ることができたのはみなさんのサポートのおかげです。 秋山 幸輝
4年間最高でした!!ありがとうございました。 岡野 大樹
4年間お世話になりました。楽しい大学生活でした。 小川 晴生
楽しい大学生活でした。お疲れ様でした。 片岡 祐人
一期一会に感謝！出会いを大切に！ 西 小夏
4年間で大きく成長出来ました。親・仲間・先生に感謝！ 直永 健司

◎志賀 充ゼミ
4年間お世話になりました。ありがとうございました。 加藤 諒
卒業論は・緒言方法・結果謝辞。 河上 孝明
4年間楽しいことばかりで、ここで出会った仲間に感謝！ 相星 直人
大学生活は刺激や経験によって気付く事が多く両親に感謝します。 西田 頌平
辛いこと、楽しいこと、本当に充実した大学生活でした。 中村 健汰
4年間お世話になりました。充実した大学生活でした。 山下 拓真
あと2年間、びわ湖のほとりの大学院で勉強していきます。 村上 裕也
踊って食べて最高の4年間でした！ありがとうございました。 川崎 晃子

◎高橋 佳三ゼミ
周りの仲間に恵まれた4年間でした。みんなありがとうございました。 佐久間 圭



素晴らしい出会いに満ち溢れた4年間でした。野球部サイコー!! 高木 洸志
たくさんの刺激と良い経験をする事ができた大学4年間でした。 典略 弘嗣
自然豊かな大学で学んだことは僕の財産です!!先生に感謝です。 溝脇 涼
4年間で卒業できて良かったです。佳三先生に感謝です。 高見 悠佑
回り道か正しい選択だったかはこれから。夢の舞台へ!! 島崎 裕貴
とことん、夢を追って生きよう!可能性は無限大。ありがとうございました。 村上 眞生
多くの仲間たちに支えられ、過ごした大学生活を忘れず頑張る! 杉本 司
大学で出会った一生の仲間に感謝! あり。 木村 唯





最優秀論文賞の
伊藤麻由美さん

修士論文 最優秀賞

メンタルマネジメントにおける関係性への質的アプローチ

伊藤麻由美 (スポーツ学研究科 競技スポーツ系 スポーツ情報戦略分野)
主査 豊田剛成 (指導教員) 副査 高橋佳三, 林綾子

The qualitative approach to relationship in mental management
Mayumi Ito

キーワード: 関係性, メンタルマネジメント, 質的研究, ねじれ, ブレ

Keyword: Relationship, Mental Management, Qualitative Research, Twist, Remove

趣旨

本研究の関心事は、メンタルマネジメント (Mental Management: 以下 MM と略す) におけるアスリートと監督、MM 指導者の関係性を質的に検討することにある。

したがって、本研究は「MM における関係性はどのように変容するのか」というリサーチクエスト (以下, RQ) を設定し、質的にアプローチを行い、発展的・発展的仮説的知見を導き出すことを目的とする。

方法

1. 対象者 MM は本研究者が担当し、高校生アスリート7名 (女子, 球技系競技) と監督1名 (男性) を対象として実施された。
2. 調査期間 20XX 年〇月△日～〇月△+145 日 (MM の介入期間)。
3. 調査方法 MM の内容やアスリートの様子を詳細に観察・記録をし、加えて個別にインタビューを行い、会話内容を IC レコーダーに録音した。観察記録、および録音データを逐語し、発話データとした。
4. 分析手順 セッションごとに三者の関係構造の可視化を行った。その後、質的研究の代表的手法である、修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ (Modified Grounded Theory Approach: M-GTA) を参考に概念図 (Fig. 1 MM における関係性の変容プロセス) を生成した。

結果

本事例は、監督の「今のチームは困難な状況があると弱くなり、相手チームに変わったこと、

想定外のことをされると対応できない」という語りから介入が行われた。しかし、介入を行っていかなく、高校生アスリートの実力発揮が監督との関係性に繋がりがあつたのではないかと気づくようになる (I 期)。

その後、高校生アスリートと監督の距離感が離れることでそれぞれが自己と向き合い (II 期)、再び距離感を縮めようとするがうまくいかず (III 期)、関係性を見直すことで試合への課題が明確になる (IV 期)。そして、チームに危機が訪れたことでそれぞれがチームと向き合うようになり (V 期)、各自が実力発揮へ向けてすべきことや自己の役割に気づき、課題に取り組むようになる。

分析の結果、「MM における関係性はどのように変容するのか」という RQ に対し、高校生アスリートと監督、MM 指導者は「距離感の変化と立場の変化によって関係性にねじれが生じ、その経験を契機に視点の変化が起こることによってブレを受け入れる」という変容をたどるという仮説的知見を導き出した。つまり、MM の介入によって、高校生アスリートと監督のブレが可視化された。このように、本研究によって導き出された関係性のねじれやブレを、MM 現場への提言とし、今後の MM 指導に活かしたいと考える。

2014 年度の卒業研究優秀論文発表会は2月12日、本学の大講義室で開かれ、競技スポーツ学科スポーツビジネスコースの福川欣希さん (片上ゼミ) の「箱根駅伝テレビ中継における大学広報価値」が最優秀論文に選ばれた。

スポーツ学研究科競技スポーツ系スポーツ情報戦略分野の伊藤麻由美さん (指導教員・豊田剛成) の「メンタルマネジメントにおける関係性への質的アプローチ」だった。今回で5回目となった優秀論文発表会。生涯スポーツ、競技スポーツの両学科ともに各コースの特徴を存分に生かし、興味深い内容だった。

最優秀論文は 福川欣希さん

箱根駅伝テレビ中継における大学広報価値
福川 欣希 (競技スポーツ学科 スポーツビジネスコース)
指導教員 片上 千恵

キーワード: 箱根駅伝, 広報価値, 広告費

1. 緒言 毎年1月2, 3日に開催される東京箱根間往復大学駅伝競走大会 (以下、箱根駅伝と略す) は、1920 年にスタートした歴史ある大会である。1987 年からは日本テレビが全国ネットでのテレビ中継を開始し、平均視聴率は毎年25%以上を記録している。また開催時期が高校生の大学受験期間に近いため、広報効果を期待し、近年は新興校も力を注ぎ始めている。しかし、これだけ注目され、大学広報にも利用されているのに関わらず、広報価値についてあまり検証されていないのが現状である。そこで本研究は2014 年1月2日に開催された箱根駅伝 (往路) における出場全23校のテレビ中継報道量を計測し、広報価値を数量化することを目的に行う。
2. 研究方法 日本テレビ全国ネット「箱根駅伝中継放送」往路: 2014 年1月2日 (木) 報道量 (テレビの放送秒数) を計測し、その時間 (スペース) を広告として購入した場合、いくらの費用が生じるか、すなわち広告費に換算する。
3. 研究結果 ①中継中の「校名アナウンス回数」の計測。②上位校の「校名」の秒数を計測。複数校の選手による併走シーンの場合は併走人数で、複数校の校名表示の場合、表示されている校名数で放送秒数を割り、独占放送秒数に換算。
4. 結果と考察 テレビ中継において広告価値が期待できる要因として以下の4つが考えられる

③アクシデント: 2 区 (山梨学院大学) は選手の故障により、途中棄権をした。このことにより他大学よりも走り距離が半分以下となったが、広告費は3 番目に高く、約2,681 万円を示した。選手が足をケガしてから棄権するまでの間の約4 分間、常に中継されていたため、独占放送秒数が増加し広告価値増加に繋がったと考える。

④ごぼう抜き等の見せ場を作る: 拓殖大学の2 区の選手は17 位で棒を買い、10 人抜きをした。広告費換算も同大学で2 区が最も高い金額を示した (約1,270 万円)。考えられる要因として順位変動があった場合、どの区間でもほぼ確実に中継が切り替わり、その模様を中継していた。その回数がごぼう抜きをすることで増え、必然的に報道量、広告価値が増加した。また、この選手は留學生であり、レース前かごぼう抜きが期待され、その期待に応える走りをしたこともこのような結果となった要因の一つとして考えられる。

大学	合計 (千円)	大学	合計 (千円)
東洋	191,525	中央学院	26,021
駒沢	182,331	東京農業	16,952
早稲田	92,025	神奈川	16,799
日本体育	121,272	上武	22,663
青山学院	56,534	中央	27,825
拓殖	44,038	国学院	14,334
明治	86,057	順天堂	22,683
大東文化	20,727	城西	20,520
東海	27,549	専修	23,166
日本	39,200	国士館	52,528
法政	24,142	山梨学院	42,170
帝京	19,933		

4. 結論 この研究から順位と広告費には正の相関関係があることが明らかとなった。また、選手個人の結果、実績は広告価値とはそれほど関係性がないことが分かった。
5. 引用参考文献 山田満 (2007), 「2007 年箱根駅伝総合優勝の広報効果の研究」, 順天堂大学スポーツ健康科学研究 第11 号, 96~102

卒業論文 優秀賞

走幅跳における踏切準備動作に関する研究
— 女性選手を対象として —

村上 裕也 (競技スポーツ学科 スポーツ情報戦略コース)
指導教員 志賀 光

キーワード: 踏切準備動作, 脚動作, 女性選手

1. 緒言 本研究は大学生女性選手を対象とし、走幅跳における上位と下位選手の踏切 3 歩前から踏切までの準備動作の特徴を明らかにすることを目的とした。

2. 研究方法 被験者は走幅跳を専門とする女性 18 人とした (2014 関西学生陸上競技種目別選手権大会の出場選手)。踏切 3 歩前から踏切局面までを撮影し、3 次元動作分析を行った。

3. 結果と考察 本研究での被験者の自己記録は 5m64 ± 0.18m であったが、試合の結果は 5m30 ± 0.21m であった。踏切 2 歩前における足関節と膝関節支持の接地時の最大屈曲角度が小さく、屈曲角度の値も小さかった。先行研究で示されているように踏切 2 歩前の離地後から 1 歩前接地までの滞空期で重心の低下が行われていたと推察した。伊藤 (2007) は、踏切 1 歩前の膝関節角度を出るだけ動かさないように離地し、踏切 1 歩前接地までに低下させた重心を維持して踏切に向かうことが良いと明らかにしている。本研究では踏切 1 歩前支持期における膝関節の屈曲角度は、踏切準備局面全体を通して一番屈曲していた (図 1)。これらの動作は踏切 1 歩前接地までに低下させた重心を維持する動作ではなく、助走速度の減速に繋がる動作であった。この減速を少な

4. まとめ 本研究における動作の特徴として、踏切 1 歩前支持期において膝関節の屈曲動作が大きく、上位選手は踏切に近づくに従って足を置きに行き、足部が地面に対して低い位置を通過する動作を行っていたと考えられる。

図 1: 踏切準備局面の膝関節角度 (支持期)

引用・参考文献 伊藤信之 (2007) 走幅跳びの指導。体育の科学, 57: 501-506.



最優秀論文賞の福川欣希さん

卒業論文 最優秀賞



2014年度
学生表彰
学業成績 (4 年間)
学校スポーツコース 森川ゼミ
渥美 友那

表彰に値する功績、行為等
スポーツビジネスコース 片上ゼミ
オープンキャンパスの運営スタッフとしての
自主的・積極的な活動

学校スポーツコース 仲宗根ゼミ 4 年次生
大学祭の実行委員としての
自主的・積極的な活動

※論文優秀者除く

びわこ成蹊スポーツ大学

〒520-0503 大津市北比良1204番地
【代表】TEL:077-596-8410 FAX:077-596-8419 E-mail:jim@bss.ac.jp



JR比良駅から線路沿いに徒歩約15分。JR京都駅よりJR比良駅まで約40分。



2014年度

文化講演会開催

2014 年度の文化講演会は1月15日に開催された。講演者は女子バレーボールで五輪金メダルを獲得し、現在は日本オリンピック委員会 (JOC) 理事の荒木田裕子さん。荒木田さんは、まず2020 年東京オリンピック・

パリンピックの招致成功の裏話などを披露。低く力強い声で、その声に世界で活躍してきた威厳のようなものを感じた。後半は、嘉田由紀子学長との対談形式で進み、小学校ではバレーボール、中学校からバレーを始めたことや、本当は学

校の先生になりたかったという話があった。さらに、日本代表選手として活躍した後は指導者の道を経て、五輪招致活動に関わるようになった経験の中で、思いを伝えるための言葉の大切さを語った。最後に学生に向けて「やりたいと思ったことがあったら、一歩前へ出ないといけない」と熱いメッセージを残した。

韓国・仁川で9月に行われた第17回アジア競技大会の水球日本女子代表として出場した森翼 (競技スポーツ学科コーチングコース3年) が銀メダルを獲得した。アジア大会では最大のライバルだった中国に敗れ、惜しくも2位という結果だったが、アジア大会で得たものは多かったという。森梅田両選手は「日本女子水球初出場での優勝を目標に掲げていた。同時にプレッシャーもあった。中国に負けはしたが、チーム一丸となって戦うことができた」と日本女子水球初の銀メダルの重みを語った。

2人ら本学水球部のメンバーが中心となった「CN

